平成25年度補正予算

一般会計	2億7516万8千円増額
国民健康保険特別会計	6617万8千円減額
介護保険特別会計（保険事業勘定）	1222万9千円増額
後期高齢者医療特別会計	459万8千円減額
病院事業会計	3億7622万円増額

平成25年度一般会計、三つの特別会計および病院事業会計補正予算は、総額6億5284万1千円を追加するもので、すべての会計において原案のとおり可決されました。

主な質疑

一般会計

総合型地域スポーツクラブ

問　クラブの事務所を七宝プールに置く理由は。

教育部長　行政との連携が不可欠であり、総合型地域スポーツクラブの担当者のいる七宝総合体育館と隣接する七宝プールに決定した。

七宝プール

子ども・子育て支援事業計画策定費

問　条例では委員は16人となっているが、委員報酬が14人分の理由は。

子育て支援課長　2名は市職員を予定している。

病院事業会計

国県補助金

問　国県補助金3億6300万円を減額し、同額を企業債として起債しているが、来年度補助金交付の見込みは。

市民病院事務局長　新築工事1回目の入札不調により工事着手が遅れ、補助対象箇所の実施ができないため、県補助金の今年度交付はなくなった。来年度は交付される見込みのため、同額を来年度予算に計上する。

問　補助金が交付された段階で企業債はいったん返還するのか。

山田副市長　企業債をいったん返還するということではなく、26年度の補助金分を減額して企業債を起債するので、全体の財源構成は変わらない。

出資金

問　補正の必要性と今後の見込みは。

市民病院事務局長　会計制度変更に伴い、引当金や長期前受金の適用が要請されており、結果として負債が資産を上回ることになることから、資本造成が必要となった。

今後、同様の資本造成は発生しない見込み。

問　貸付金ではいけないのか。

管理課長　一般会計から借りるという性質のものではなく、病院の資本に積むものである。

問　後に返してもらえるのか。

管理課長　病院事業を運営している間はお返しすることはない。